

「学志舎での思い出」

私が学志舎に通い始めたのは高1の夏からでした。
高校入学から1ヶ月近くオンライン授業の期間があり、
とても怠けていた私は勉強する習慣が全くなく、
その期間に努力していた子たちとは大きく差が開いていました。
6月になり部活や学校生活が本格的に始まり、
「さすがにこのままじゃだめだな」と思い、
学志舎に通い始めました。

部活は演劇部でした。
平日や長期休み、ほぼ毎日練習があったため大変でしたが、
とても楽しかったので、勉強も部活もどちらも頑張りたいと思いました。
そこで平日は毎日部活が終わったあとそのまま塾へ行き、
自分の机で勉強する事にしました。
部活の後「疲れて行きたくないな」と思うこともありましたが、
他にも自習に来ている先輩や同級生がいること、
自分専用の机があるという事がモチベーションになり、
3年間続けることができました。
また、友達と休みの日に一緒に塾で勉強をしたり、
難しい問題を教えあったりすることで、
楽しみながら塾に通うことができました。
受験期には小論文論文や志望理由書の添削、
自分に合った大学探しに、塾長、事務長、
塚田コーチなどの沢山の方に支えて頂き、
自分の夢に自信を持って受験することができ、
とても感謝しています。



「卒塾生 学志舎で語る」vol.13

「卒塾生 学志舎で語る」
バックナンバーはこちら

2022年12月 卒塾生 坂本 詩織 名古屋市立大学 人文社会学部 合格

小さい頃から発展途上国で支援をしている日本人の絵本や
里親に密着しているテレビ番組を好んで観ていた私は、
「誰かのために行動できる人」に強い憧れを抱いていました。
そのため、幼児教育だけでなく、子どもを取り巻く環境について学ぶことで、
何か子どもたちの役に立つ人間になりたいと思っていました。
子どもの貧困など、今の社会問題について考えながら幼児教育を学べる大学という
条件にぴったりだったのが名古屋市立大学の心理教育学科でした。
はじめは心理と社会問題は何の関係もなさそうだなと思っていましたが、大学で学ぶことを調べているうちに、
子どもが育つ環境は子どもの心理状態と密接に関係しているという事を知りました。
無事に志望校に合格できたことで、大学での様々な学びを通して
子どもの発達を守る人になれることを、とても楽しみにしています。

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。
「コーチ (coach)」とは「馬車」の意。
ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

私は子どもの育つ環境と子どもの成長について
大学で学びたいと思っています。
元々子どもと関わるのがとても好きで、
小学生の頃から母の幼稚園で
ボランティアをさせてもらっていました。
「将来は保育士になりたいな」と
なんとなく考えていたのですが、
具体的に大学で何を学びたいか考えた時、
幼児教育だけじゃ何か物足りないと思っていました。

高校2年生の秋から彼女の担当になりました。
それまでは塾で会ったら少し話すだけだったので、明るい元気な高校生というイメージでした。
マンツーマンをするようになり、演劇部の部活三昧の中、
なんとか時間を生み出して勉強を進めていることを知りました。
平日も土日も部活で、「部活に青春を捧げる」という言葉は彼女のためにあるんじゃないかと思いました。
彼女のいいところは、分からないところに対して分かったふりをしないところだとずっと思っていました。
高校生になると「なんとなく分かったかな～」というところを理解したとして進めがちになってしまいます。
その点で彼女には良い意味でプライドがなく、分からないときに本当に困った顔をしてくれました。
素直に「まだ分からない」と伝えてくれることで、小さな疑問を残さずに進めることができました。
これからの大学の勉強でも、疑問に思うことはそのままにせず、どんどん吸収して欲しいです。
また、今回推薦入試で合格できたのは、やりたいこと、そのために名市大で学びたい、が
非常に明確だったことだと思います。やりたいことを話してくれるときの彼女の表情は
とても生き生きしていて、この思いを面接官にぶつければ絶対大丈夫だと思わせてくれました。
素直で、受験や部活で自分が大変なときでもコーチに思いやりをもって接してくれる
優しい心の持ち主の詩織なら、きっと素敵な保育士になるんだろうと思います。
大学でも詩織らしく、全力で楽しんでね！

担当コーチ 塚田真菜 岐阜大学医学部5回生



学志舎

智をつけよ そして人の為に活かせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索